

授業者 光田 龍太郎 藤井恵子 (TT)

クラス 4年D組 40名 (男子20名, 女子20名)

場 所 音楽演奏室

1. 単元 総合的な学習「芸術の新しい表現」 ～さまざまな発声と歌声～

2. 単元のねらい

この総合的な学習の時間では、普段見過ごしたり、当たり前のもので感じているようなさまざまな音楽表現を見つめ直し、それを創造的な音楽表現へと発展させていくことをねらいの一つにしている。つまり、音・楽器・楽譜・指揮・声など、生徒が身近に接している音楽の諸要素をもう一度多方向から見直し、その土台となる基礎的な音楽の表現方法をより深く探っていく。そしてそれをもとに既成の音楽の表現の枠から出て、発展的で創造的な表現へとつなげていかせたい。音楽科ではそのような創造的な面を音楽におけるクリティカルシンキングととらえている。

もう一つのねらいは、西欧中心の音楽だけでなく、世界中のさまざまな地域や文化・歴史の違いによる多種多様な音楽（楽器や歌い方など）に目を向けることである。生徒にとっては未知であったり、マイナーであったりする音楽でも、それぞれ独自で個性的な表現方法であることを理解させる。限られた時間ではあるが、実際の鑑賞や体験を通し、生徒が将来創造的な表現をしようとする際に、何らかの参考になったり手助けになることを期待している。

また、高校の総合的な学習の時間は、普通の音楽の授業と違いクラス単位で受講するのが特徴である。そのため、他の美術や書道の芸術選択者も一緒に学習することを踏まえ、なるべく共通して興味をもてるようなテーマを設定した。そして、多くの実体験をすることによって音楽の面白さや奥深さを感じとらせたい。そのことが芸術における重要な共通項である、「個性的な表現をする」ということに対して生徒が目を開いていくきっかけとなるのではないかと思われる。

3. 単元計画（全5時）

- 第1時 導入。音とは何か？ 弦楽器の仕組みを探る。
- 第2時 管楽器と打楽器の仕組みを探る。
- 第3時 楽譜とは何か？ 指揮とは何か？
- 第4時 発声の仕組みを探る。
- 第5時 さまざまな発声と歌声。まとめ。・・・本時

4. 単元（本時）の評価規準

ア. 関心・意欲・態度

さまざまな発声や歌声に関心を持ち、意欲的に鑑賞や歌唱に取り組んでいる。

イ. 音楽的な感受や表現の工夫

発声や歌声の特徴をつかみ、模倣をしながら表現しようとしている。

ウ. 創造的な表現の技能

発声や歌声の特徴をつかみ、自分なりに考えて表現しようとしている。

エ. 鑑賞の能力

地域・文化・歴史等の要因と音楽との関連を理解しながら鑑賞することができる。

5. 本時のねらい

前時では「発声の仕組み」というテーマで、人体の構造に関連して発声のメカニズムを探り、実際の歌唱に役立つ呼吸法や発声法を体験した。しかし、これはいわゆる西欧の音楽における正統的な声の出し方であり、世界中を見渡すと、非西欧圏のさまざまな発声や歌の表現をはじめとする多種多様な音楽文化が存在している。本時では生徒たちにとってはなじみの薄いこれらの歌い方や音楽に触れ、実際に体験することによって、幅広い音楽観や世界観を持たせたい。そのためには一つの歌にじっくり取り組むのではなく、なるべく沢山の音楽に接して新鮮な驚きを体感するとともに音楽の持つ多様な面白さを感じさせたい。

6. 授業展開過程

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
11:05	前時の復習と本時の学習内容の提示 1. 変わった発声 ①ホーミー（モンゴル）の鑑賞 ②密教の声明（チベット）の鑑賞 ③ホーミーの体験	・ 共鳴や倍音の利用に注意させる。 ・ 超低音と倍音に注意させる。 ・ とても難しいので、無理をせず、喉を痛めないようにさせる。	ア, エ ア, エ イ
11:15	2. 地声発声 ①女声合唱「夢見るトドラ」（ブルガリア）の鑑賞 ②民謡「三原ヤッサ」（広島）「斎太郎節」（宮城）の鑑賞 ③「斎太郎節」の歌唱	・ 女声の地声と農作物との関係について触れる。独特の力強さ。 ・ アジアの民謡はそのほとんどが地声発声。 ・ 女子は無理をしない程度に極力地声で歌わせる。	ア, エ ア, エ ウ
11:25	3. 裏声発声 ①ヨーデル「ヨハン大公のヨーデル」（オーストリア）の鑑賞 ②カントリー&ウェスタン「スイスの娘」（アメリカ）の鑑賞 ③民謡「ホーハイ節」（青森） ④カウンター・テナー「Caro Mio Ben」の鑑賞 ⑤「ヨハン大公のヨーデル」の歌唱	・ ヨーデルが生まれた地理的要因を考えさせる。 ・ アメリカではコヨーテの遠吠えを声にミックス。 ・ 民謡の中では例外的な発声。 ・ カストラートなどの歴史的要因について触れる。 ・ 地声と裏声の境目は最初にピアノに合わせて声を出し、各自で決めさせる。	ア, エ ア, エ ア, エ ア, エ ウ
11:40	4. その他 ①喉遊び歌（イヌイット）の鑑賞 ②「ケチャ」（インドネシア）の鑑賞	・ 気候と発声との関連。 ・ 複雑なリズムアンサンブルの面白さを楽譜を見ながら味わわせる。	ア, エ ア, エ
11:48	○本日のまとめと単元のまとめ	・ 自己評価をカードに記入させる。	